



## 将来の幹部自衛官を目指して

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、このほど、防衛大学校（横須賀市）において開催された防衛大学校オープンキャンパスに学生等を引率し参加した。

このオープンキャンパスは、将来、防衛大学の受験を考えている学生とその保護者等を対象に、毎年夏休みのこの時期に行われており、静岡地本からは72名の希望者が参加した。

防大に到着すると早速、防衛大学校長（國分良成氏）によるウェルカムスピーチが行われ、防大と一般大学の違いや普段どのような教育を実施しているのか等について説明を受けた。参加者は皆一様に真剣な面持ちで説明を聞き、必要に応じてメモを取る等、今回のオープンキャンパスに対する熱意や受験への意欲を感じることができた。また、その他にも各種教育施設や学生寮の見学、職員による模擬授業等が行われ、防大の学校生活をイメージするのに役立つ体験を通して防大への理解を深めていた。参加した学生からは「防大の授業がとてかわかりやすく、面白かった」「施設がとても充実していて驚いた」等の声が聞かれ、今回のオープンキャンパスが受験に結びつく有意義な時間であったことを伺わせた。



## 若者に陸自富士学校で現場見学会を実施

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、このほど、陸上自衛隊富士学校（小山町）で行われた駐屯地部隊見学会及び戦車体験搭乗を実施した。

これは、将来、自衛隊の受験を考えている若者とその家族を対象に実施されたもので、参加者はまず、駐屯地資料館において駐屯地の概要説明を受けるとともに陸上自衛隊の創設から現在に至るまでの自衛隊の歴史を学んだ。その後、隊員が普段生活している宿舎、浴場、厚生施設等を見学した後、隊員食堂で隊員とともに昼食を体験喫食し、隊員の生活環境について理解を深めた。

午後からは、90式戦車の体験搭乗が行われ、普段は10分程度で力ゴ付の試乗で実施するが、この日は2名ずつ通常の車体のまま車長席・砲手席に乘車する要領で行われ、それぞれのハッチから顔を出して優れた機動性や防護力を全身で感じていた。

参加した募集対象者からは「今のモチベーションを維持して必ず入隊出来るように何事も頑張りたい」、父兄からは「これほどやりがいのある仕事を30年前に知っていたら間違いなく入隊していた」等の感想を聞くことができた。

静岡地本は、今後もこのような現場を知る機会を積極的に活用し、自衛官を目指す者には入隊への活力を、そのご家族には安心を提供できるよう努めていく。



## 防衛医科大学校看護学科のキャンパスを見学

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、8月24日（水）に防衛医科大学校（埼玉県所沢市）で行われた「看護学科学生オープンキャンパス」に、学生及びその保護者等52名を引率して参加した。

防衛医科大学の広大な敷地は、真新しい校舎や学生舎、医学に関する専門書を多く所蔵する図書館等があり、医学の勉強に集中できる環境が整えられている。当日は模擬講義や体験実習が行われ、参加者は実習室で防衛医大の学生から患者用ベットシートの交換要領を教えてもらう等、実際の教育の雰囲気を感じながら、自分の希望する進路をより深く知ることができた体験をした。

参加した受験希望者からは「私と年齢がそれほど変わらないのに、しっかりと教えて教え方も上手だった。是非私もここで学んで技術や医療に携わる心構えを身に着きたい」「このオープンキャンパスに参加したことで防衛医大で勉強したいという気持ちが更に強くなった」等の感想が聞かれた。

静岡地本は、引き続きこのような実際に各学校にふれる機会を有効に活用して、防衛省・各大学の魅力を多くの方に伝え、優秀な人材を獲得できるよう努めていく。

